

ベトナム EC 市場の急成長と今後の課題

2025 年 2 月 20 日 作成

カテゴリ ベトナムビジネスマッチング・販路開拓 EC

ベトナム EC 市場の急成長と今後の課題

ベトナムの電子商取引（EC）市場は近年急成長しており、2024 年には市場規模が 25 億ドルを超え、前年比 18～20%の成長を達成した。EC 関連の税収も増加し、海外企業 116 社が登録して納税し、総額 1 兆 9,774 億 VND を超えた。特に Google、Meta、Microsoft、TikTok、Netflix、Apple などの大手企業が大きく貢献している。ベトナム国内では Shopee、Lazada、TikTok Shop などのプラットフォームが市場を牽引し、今後も EC の成長が続くと予測されている。

また、消費者行動にも変化が見られ、経済的圧力により生活必需品への支出が増え、贅沢品の購入が減少した。オンラインショッピングの普及が進み、消費者は利便性や割引を求めて EC を活用する傾向にある。コロナ禍以降、EC の利用は定着し、デジタル技術の発展が企業の効率化と市場の拡大を後押ししている。政府の政策も EC の発展を支援し、法整備の進展が市場の透明性と安定性を向上させている。

一方で、ベトナムの EC 市場はまだ多くの課題に直面している。消費者のデータ保護やインフラ整備、高品質な人材の不足が挙げられる。また、海外製品の流入による競争激化や新たな税制の適用がベトナム企業にとっての課題となる可能性がある。これに対応するため、ベトナム政府は税制優遇や物流支援などの政策を進め、EC の持続的な成長を促している。

2025 年には EC が小売市場全体の 10%を占め、経済全体の 20%を構成する可能性があると予測されている。特にライブコマースや AI 技術の活用が進み、個別最適化された消費者体験が提供される見込みである。ベトナム企業は価格競争よりも高品質な商品やサービスの提供に注力し、顧客ロイヤリティを高めることが求められる。ECの発展に伴い、ベトナム政府とベトナム企業が協力して課題を克服し、市場の透明性を高めることが、今後の持続可能な成長の鍵となる。

以上